

sLV5FU2 + Bev

対象

結腸・直腸癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	ベバシズマブ	5mg/kg	DIV	90min→60min→30min	d 1
2	レボホリナート	200mg/m ²	DIV	2hr	d 1
3	5FU	400mg/m ²	DIV	15min	d 1
4	5FU	2400mg/m ²	DIV	46hr	d 1-d3

1コース期間	2週間												
総コース数	PDになるまで												
投与開始基準	・好中球$\geq$1500 ・PLT$\geq$10万 ・T-Bil$\leq$2.0 ・AST、ALT$\leq$100 ・クレアチニン$\leq$2.0												
減量規定・中止基準	Grade3の白血球減少、好中球減少、血小板減少、非血液毒性 5-FU (bolus)は、副作用状況により投与しない場合がある。 ベバシズマブ： 創傷治療遅延、静脈血栓塞栓症、可逆性後白室脳症→治療まで休薬 Grade2,3のネフローゼ症候群→Grade1まで休薬 消化管穿孔、動脈血栓塞栓症、高血圧脳症、クリーゼ、重度の出血、G4のネフローゼで中止再投与不可 尿蛋白1+となったらUTP/Ucre測定⇒UTP/Ucre:1.0gを超えたら腎透析内科へコンサルトを検討 <table><tr><td>減量レベル</td><td>5FU(bolus)</td><td>5FU(持続静注)</td></tr><tr><td>初回投与量</td><td>400</td><td>2400</td></tr><tr><td>-1</td><td>300</td><td>2000</td></tr><tr><td>-2</td><td>200</td><td>1600</td></tr></table> (単位mg/m²)	減量レベル	5FU(bolus)	5FU(持続静注)	初回投与量	400	2400	-1	300	2000	-2	200	1600
減量レベル	5FU(bolus)	5FU(持続静注)											
初回投与量	400	2400											
-1	300	2000											
-2	200	1600											
2コース目以降の投与開始基準	投与開始基準に準じる												
コース間での休薬の規定	ベバシズマブ創傷治療遅延・静脈血栓塞栓症・可逆性後白質脳症→治癒まで休薬 G2・3 ネフローゼ症候群→G1まで休薬												
投与量の増量規定	なし												
注意すべき副作用	骨髄抑制、下痢、吐気、口内炎、高血圧、尿蛋白、消化管穿孔、創傷治癒遅延など												

sLV5FU2 + Bev

1コース期間 : 14日

投与所要時間 : 4時間(1回目)→3時間30分(2回目)→3時間(3回目以降)

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	day1
主管	1	カイトリルバッグ 100mL デカドロン 6.6mg		div	15min	○
	2	生食100mL(250mL) アバスチン【 】mg	5mg/kg	div	90→60→30min	○
	3	5%ブドウ糖液 250mL アイソボリン【 】mg	200 mg/m ²	div	2hr	○
	4	生食50mL 5FU 【 】mg	400 mg/m ²	div	15min	○
	5	生食50mL【 】mL 5FU 【 】mg ★インフューザーポンプを用いて	2400 mg/m ²	div	46hr	○

コメント

・アバスチンの希釈液: 初回は生食250mL、2回目以降生食100mL

Reference: